



秋元神楽 (高千穂)

みやざきの神話と神楽

～神話の源流
みやざきの旅～



天逆鉾 (高原町)



高千穂峡 (高千穂)



青島神社 (宮崎市)

コード 340001 曜日 金曜日 時間 13:00~14:30 日程 全4回 2/10~3/3 定員 60名

受講料 ¥5,720 ビジター受講料 ¥6,578 単位数 1

●講座のねらい

宮崎県は、古事記や日本書紀に描かれた「日向神話」の舞台であり、県内各地で、神話にちなんだ伝承や神楽などの伝統文化が、大切に継承されています。

今回の講座では、地元宮崎県の講師や神話を研究されている講師を中心に、日向神話の奥深さや宮崎の神楽の多様性について、皆さんと一緒に考察しながら、「神話の源流 みやざき」の魅力に迫ります。

日程	担当者	テーマ	講義予定
2/10	塩沢 一平 二松学舎大学教授	日向と神武天皇と歌謡の世界	天孫二二ギは、なぜ日向(宮崎)に降り立ち、その曾孫神武は、なぜ日向を離れ、東征し天皇となったのか。そして神武の辿った足跡や大和を歌謡はどう表現しているのか。秘密だらけの日向・神武・歌謡を、楽しく解き明かしていきます。
2/17	小川 直之 國學院大学教授	みやざきの神楽にみる大蛇と荒神	宮崎県内には現在 204 の神楽があり、その歴史は 15 世紀にさかのぼります。この長い歴史のなかで多様な特色ある内容が形成されています。こうした県内の神楽から、今回は荒ぶる「荒神」と「大蛇」が登場する演目を取り上げ、地域ごとの違いを見ていきます。藁の大蛇は何を表象するのがポイントです。
2/24	平藤 喜久子 國學院大学教授	日向神話をめぐる旅	日向神話を知った上で、その舞台となっている土地を歩くと、文献資料からだけでは知り得なかった面白さや気づきを得られることがあります。本講座では、神話の舞台の写真を見ながら、日向神話の現地での味わい方を考えます。
3/3	大館 真晴 宮崎県立看護大学教授	古風土記にみる天孫降臨神話 ～日向国風土記逸文を中心に～	古風土記には『古事記』『日本書紀』にはない、天孫降臨神話が記されています。その記述には中央の官人ではなく、地方官人ならではの文字遣いや視点というものがあります。今回は「日向国風土記逸文」の記述を中心に、その記述の魅力を語っていききたいと思います。